




# 守り伝えるために 鳥の宝を


#12

NPO法人  
徳之島  
虹の会

☎ 0997-86-3575  
✉ shimaniji@gmail.com

Q. 世界には何種類のウサギがいるの？ 

A. 世界には約 90 種のウサギがいて、日本にはエゾナキウサギ、エゾキウサギ、ニホンウサギ、アマミノクロウサギという4種の在来種がいます。

Q. アマミノクロウサギは他のウサギと比べて、何が特別なの？他にない特徴は？ 

A. 他のウサギに比べて手足や耳が短く、出産数が少ないことや、鳴くことが特徴。原始の姿を今に残しています。

Q. アマミノクロウサギはどんなところに棲んでいるの？

A. 人が入ってこないような、谷地の斜面を登ったり下りたりしながら生活しています。斜面に穴を掘って巣をつくります。

Q. クロウサギは何を食べているの？好物は何？ 


A. 植物の新芽や樹皮を食べますが、珍しいのはドングリ。世界中でドングリを食べるウサギはアマミノクロウサギだけです。ホソバワダン（ニガナ）などが好物です。

Q. クロウサギはどれぐらいジャンプができるの？

A. だいたい 50cm ぐらいはジャンプできます。徳之島には天敵となる肉食動物がいなかったため、走るのとはそれほど速くありません。

Q. どの季節に活発に行動するの？  
昼間は活動しないの？

A. 毛でおおわれているクロウサギは、暑さに弱いのです。食糧が豊かな春と秋に活発に行動します。また繁殖が盛んな時期でもあります。冬場の寒い時期には、昼間に目撃されることもあります。

Q. クロウサギの歯は、生え変わったり虫歯になったりしますか？ 

A. どのウサギの歯も、伸び続けるだけで生え替わることはありません。通常はかたいものを食べることで、自然にすり減ります。虫歯になるかどうかは、まだよくわかっていません。

Q. アマミノクロウサギと共生するために、私たちにできることは？

A. まずは、クロウサギの特性を知ることが大事。生態を理解することで、保全や農業被害の対策など良い方法も見えてきます。家畜と野生の違いを理解することも必要です。長い歴史の中で自然と共生してきた徳之島の人たちだからこそしっかりと話し合い、今後も豊かな自然や希少な生き物たちとの共生の道を探っていってほしいと思います。



山田文雄先生

沖縄大学客員教授  
世界自然遺産地域科学委員会委員



# アマミノクロウサギ Q & A



卯年

新年あけましておめでとうございます。2023年はウサギ年！徳之島には、ずっと昔からアマミノクロウサギが暮らしています。ウサギ年にちなんで、ウサギ博士の山田文雄先生に、クロウサギについて教えてもらいました。